

市民と未来のために

仙台市政報告



仙台市議会議員 青葉区

伊藤ゆうた

ウクライナからの避難民へ支援を!!

伊藤ゆうたは令和4年第1回定例会 予算等審査特別委員会で、ロシアによるウクライナへの侵攻に強く抗議の意思を表明し、ウクライナ情勢による国際情勢悪化を踏まえ、原油価格高騰をはじめとする影響から、市民・事業者、市内経済を守るため、新年度予算編成を含め、今後の対応について市長、当局に質疑を行いました。

先だって日本政府は、親族や知人が日本にいる方々をはじめとした避難民の受け入れの表明をしています。そして現在仙台市には14名、ウクライナの方



方が居住されています。そこで私は仙台市として、積極的なウクライナからの避難民への支援を行うべきと市長に提言、質疑しました。郡市長からも「積極的に支援に取り組んでゆく」との答弁を得ました。今後も命からがら故郷を追われた、何の罪もない子どもたちや家族に、住まいや、就学、就労支援等、困った人々に寄り添う丁寧な対応が求められます。

仙台市 ウクライナ難民受け入れへ

郡和子仙台市長は10日、市議会2月定例会の予算等審査特別委員会で、ロシアの軍事侵攻が続くウクライナからの避難民を受け入れる考えを表明した。「日本政府から本市に対し、具体的な要請があった場合に速やかに対処できるよう準備を進めている」と述べた。

伊藤優太議員(市民と未来のために)への答弁。郡市長は「東日本震災で国内外から多くの支援を頂いた経験から、困難な状況にある人々の支援は大切だと考える」と強調。市営住宅の空き部屋を提供する用意があることを明かした。

▲河北新報 2022年3月11日朝刊より引用

反対だけではなく対案を提出!

～コロナ経済対策を大幅拡充すべき～

令和3年第1回定例会 予算等審査特別委員会で郡市政の経済政策への対案を提案しました。私が市内事業者から広く声を聴いてきた状況を踏まえると、まだまだ支援が必要な業種があり、現在の支援策だとサポートの手が届かないため、原案より対象事業者を広げ、支給金額を引き上げる内容です。もちろん「ただのバラマキ」ではなく、財源は割増商品券事業のリセットと財政調整基金



コロナ関連補正予算 修正案提出も… 支援金拡充 賛成少数で否決

修正議案は伊藤優太議員(市民と未来のために)が出した。支援金は県と市が営業時間短縮を要請した市内の飲食店に飲食料品、おしぼり、生花を提供する事業者などが支給対象。市は昨年12月・今年2月のいずれかの月の売り上げが、前年同月比で50%以上減少したことを条件とする。

仙台市議会

24日であった仙台市議会2月定例会予算等審査特別委員会で、市の新型コロナウィルス関連の経済対策に異論を唱えた議員が、一般会計補正予算案の修正案を提出した。

に求めました。限りある財源の中で財政の柔軟性を保ちながら今必要な支援策を打ち出すのは難儀なことですが、批判があろうとも政治は取捨選択しなくてはなりません。コロナ禍で厳しい状況の市内事業者を救うための案です。市議会の55人中、たとえ1人であろうとも、市民生活にとって必要なことは対案をしっかりと示す議会活動を追い求めたいと思います。

▲河北新報 2021年2月25日朝刊より引用

市民と未来のために 改革を進めていきます!

未来に残せる仙台を創るために!

仙台市音楽ホール計画は 市民の理解を得られているか?

令和元年第4回定例会から、令和3年第1回定例会まで「仙台市音楽ホール構想」について継続的に質問を行っています。市の財政状況が切迫する中、巨額の建設費やランニングコストが発生する大型施設の建設について政策進行のプロセスや施設のあり方等について、指摘や提案を行ってきました。こういった大型施設について、その建設自体が目的化することなく、市民の共感と理解のもと、持続可能なものであるべきという思いからです。仙台市は立地場所を青葉山交流広場に決定し、中心部震災メモリアル拠点との複合整備を目指すことが示されました。仙台市のコンベンション誘致にも大きな影響を及ぼすなど他施設への影響も懸念されます。今後も中長期的な視点から、市民の理解と共感が得られる施設となるように、プロセスについて厳しくチェックをしていきます。

伊藤氏は、開館3年前に審判監督に就任した佐渡氏が、センターの設立目的などを地域住民に説明して回ったと紹介。「仙台市に足りないのは、当時の佐渡氏のような(市民に)丁寧に説明する姿勢だと指摘した。

コロナ禍なのに?

財源は?

郡和子仙台市長は8日、市が中心部に整備する音楽ホールの理想像として、兵庫県西宮市にある兵庫県立芸術文化センターを一例に挙げ、「世界に誇れる総合的な文化拠点を目指す」と述べた。市議会9月定例会決算等審査特別委員会で、伊藤優太氏(市民と未来のために)の質問に答えた。

▲河北新報 2021年10月9日朝刊より引用

長期間欠席議員の議員報酬減額を!

～市議会議長に緊急要望書を提出～

令和3年第3回臨時会で特別職の期末手当の日割り計算や長期間欠席時の給与等の不支給、減額について条例改正の必要性を指摘しました。昨年末話題になった国会議員の文通費改革のように、われわれ地方議会でも不断の見直しが必要で、そこで私は議長宛に市議会議員の長期間欠席時の報酬の不支給や期末手当の日割り計算について、議論を行うよう緊急要望を行いました。例えば東京都議会では過去に長期間、議事を欠席した議員に報酬が支払われた事例があり、議員報酬に関する条例の見直しが行われました。だからこそ仙台市議会でも同様の事態を想定し条例改正等の議論を進めるべきです。これからも、しっかりと市民の皆さんが納められた税金の使い方が、ムダなく、納得できるように議会を通じて提言に取り組んで参ります!



身を切るリーダーが必要だ!

～厳しい市財政 郡市長に辞退を求める～

令和3年第2回定例会 一般質問で、新型コロナウイルス対策で厳しい財政状況の中で毎任期ごとに仙台市長へ支給される3,000万円を超える市長退職金について身を切るべきと迫りました。奥山前市長は1期目の市長退職金を辞退するために就任後、条例改正を行いました。市議会議員は退職金制度はなく、市長も公選職の特性上、4年の任期ごとに支給される退職金制度はなじまないと考えます。

市議は0円

市長は3,000万以上?

厳しい財政 辞退迫る市議

郡和子仙台市長は16日、8月21日に任期満了となる1期目の退職金3,000万5,200円を全額支給する意向を明らかにした。市議6月定例会本会議で伊藤優太氏(市民と未来のために)の一般質問に答えた。新型コロナウイルス対策で厳しい財政状況を念頭に「(今)そ身を切るリーダーが必要ではないか」と迫った伊藤氏に対し、郡市長は「支給を定めた現行条例の規定による対応」としたと述べ、条例改正を伴った減額や辞退を否定した。

▲河北新報 2021年6月17日朝刊より引用

仙台市長、退職金もらいます

詳しい一般質問や質疑は

仙台市議会インターネット議会中継

検索

発行会派 市民と未来のために 市議会会派室
 仙台市青葉区国分町3-7-1 mail:info@itoyuta.com
 090-7566-5159 (伊藤優太直通)